修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　早川泰雄
東京都千代田区西神田
2丁目8―7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）3―36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

各修旅委総会ひらく

役員、事業など決定

強力な陳情運動も展開

関東、東海、近畿二府四県の各修学旅行委員会は新年度を迎え、いっせいに総会を開き会長（委員長）をはじめ全役員を選出したほか本年度の事業計画もそれぞれ決定した。とくに本年度は修学旅行費の値上げ抑制と安定性の確保をふまえ、学校行事としての使命がじゅうぶんに果たせるよう具体策を掲げているのが特色。関修委は会長に茨城県の永山美智雄氏（県中学校長会長・水戸二中校長）を、また近畿二府四県は門野敬男氏（大阪府中学校長会長・八尾市大正中学校長）を再選、東海地区は各県代表委員をそれぞれ決め、本格的な活動を展開することになったと挨拶。

のため一部には修学旅行の見直しと称して廃止論があると聞くがしかし現在なお全国の九八％以上の学校で実施をつづけているのが実情である。これは学校行事としての修学旅行が教育的に大きな意義を持っていることにほかならないからである。生命の安全こそ修学旅行の第一条件であるが、さいきんでは人身事故は絶無に近くこれは輸送関係者の努力の結果であって感謝にたえないところである。国鉄のストでも修学旅行列車は除外されたが、これも修学旅行が重要な教育的行事であることの認識が労組の人たちに浸透したからである。関東地区中学校修学旅行委員会が結成されてからすでに十三年を経過した。人が変わっても事業は引き継がれ、生徒たちのため大きな貢献をなしとげてきた。本日の総会開催に当り皆さまの今後のご活躍を希望したい」と挨拶。

また、来賓の磯部長瀞町教育委員長は「学校生活のなかで修学旅行ほど有意義なものはない。年老いても楽しい思い出としていつまでも心のなかに生きつづけている。新幹線によって快適に実施できるのも先生がたの努力によるものであり、これからも子どもたちのため一層のご努力を期待している」と述べた。また業界代表として近畿日本ツーリストの高坂関東営業部長も挨拶を行った。

高橋運営委員長の司会で協議に入り、経過報告（小泉事務主幹）につづいて役員改選が行われた結果、会長に水戸市立第二中学校長の永山美智雄氏（茨城県中学校長会長）を、またそのほか役員をそれぞれ選出した。

新旧役員挨拶のあと五十三年度の事業について審議決定した。①五十五年の輸送方針②旅行費父母負担軽減に対する要望と陳情活動運動③研究調査活動の推進（来年二月に研究発表会、第九回関西方面現地研修会、宿泊研修会などの開催と「近畿の旅」の改訂、実態調査、三地区修旅連絡協への協力）について協議をかさねて決定した。

午後六時から新旧役員の歓送迎会も開かれた。翌日は長瀞と和紙製造の小川町を見学して午後二時、大宮駅で解散した。

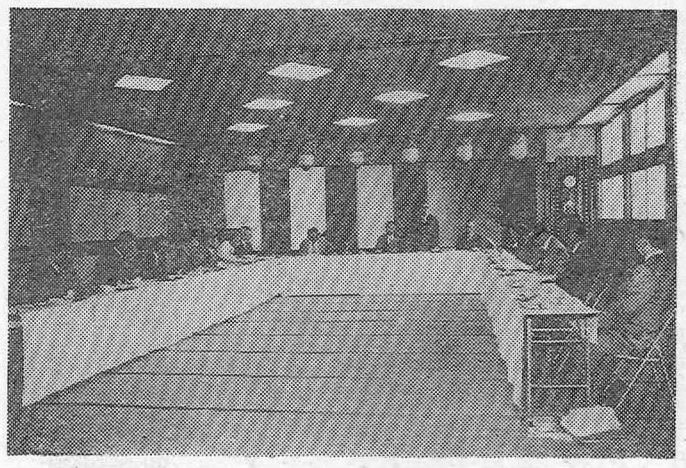
本年度の役員は次の通り。（順不同・敬称略）

会長＝永山美智雄（茨城・水戸二中）
副会長＝日向雅男（埼玉・杉戸中）大沼洸一（千葉・花園中）佐藤愛三郎（群馬・前橋一中）篠原俊雄（栃木・一条中）
運営委員長＝高橋尹敏（埼玉・八幡木中）
副運営委員長＝酒井宝祐（千葉・松戸三中）
監査＝大塚慎男（埼玉・大砂土中）斎藤留夫（群馬・新治中）
会計＝石川太四郎（栃木・犬飼中）川上泰男（千葉・印旛中）
事務局長＝小竹幸一郎（茨城・古河二中）
事務主幹＝小泉松雄（全修協・研究部長）
運営委員【埼玉】新井英彦（岩槻中）沢田克郎（高麗川中）杉田儀作（上青木中）川崎資朗（本庄西中）【千葉】大野景徳（市川一中）【群馬】木村一郎（沼田中）荒木実（渋川北中）町田一夫（原町中）林辺健二（子持中）【茨城】荒井伸男（水戸三中）小野瀬直（見川中）【栃木】谷沢八郎（城山中）萱谷重夫（真岡中）

会長に永山氏　関東地区

【関東支局】関東地区公立中学校修学旅行委員会では六月九、十日、埼玉県長瀞の聳浩亭で午後一時三十分から全役員のほか、全修協の山本理事長、来賓として長瀞町の磯部昇教育委員長を迎えて開催した。

伊藤守会長のあと山本理事長は「最近の修学旅行には、経済的負担が大きくのしかかっている。そ



関修委の総会で挨拶する全修協山本理事長

三地区　修旅連絡協で総会

6月22・23日　三重県湯の山で

本年度（第十四回）関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡協議会（小笠原健治会長）の総会は教育効「果を高める修学旅行のありかたを求めて」をテーマに六月二十二、三の両日、三重県湯の山の近鉄観光ホテルで開催する。

第一日は午後二時三十分から開会、顧問の全修協山本理事長と来賓の挨拶につづいて協議に入り、①会務報告②役員改選③本年度事業として、運賃値上げに対する特別措置、五十五年の輸送確保、新幹線輸送の問題点とその対策、在来線集約臨およびつなぎ輸送の問題と対策、旅行費の父母負担の軽減に対する要望と陳情活動③各地区の研究活動の交流④三地区間の連携強化拡大と他地区との協力などを検討する。

なお昨秋の総会で加入を議決した福岡県からも代表が出席する。

門野氏が再選（近畿二府四県委員長）

【関西支局】近畿二府四県修学旅行委員会の本年度委員は次の通り決定した。（順不同、敬称略）

【大阪府】門野敬男（大正中）＝委員長。新田勇（河南中）
【京都府】桜井勇助（第二乙訓中）
【兵庫県】谷田隆（長尾中）
【奈良県】辻弘治（吉野中）
【滋賀県】仏性紀男（粟津中）
【和歌山県】熊代正一（福原中）

東海三県の委員もきまる

【東海支局】東海三県修学旅行委員会の各県委員は次の通り。（順不同・敬称略）

【愛知】藤岡太郎（岡崎市立甲山中学校長）
【岐阜】高木義明（岐阜市立長良中学校長）
【三重】西沢増太郎（浜島町立浜島中学校長）

電話変更　西山文男氏（全修協三重県支部長）の自宅電話は[redacted]に変更。

狩野政一氏（千葉県支部長）

故狩野政一氏

全修協千葉県支部長、前監事の狩野政一氏は五月二十日午前六時肺がんのため茂原市・山之内病院で逝去された。七十四歳。葬儀は同二十八日午後一時から長生郡長生村の一松小学校体育館で同村長・東条芳郎氏が葬儀委員長となって営まれた。公正無私、穏健誠実な性格で県政、教育界からの信望を集めていたため県内外から多数の関係者が弔問、全修協からは山本理事長の代理として前田本部事務局長が参列した。

大正十三年千葉県師範学校卒業後、付属小訓導、佐倉小学校、茂原中学校長、県視学、公選教育委員を経て三十四年から県議会議員を四期十六年つとめるかたわら全修協の創立にも参加、山本理事長ら全国の同志とともに修学旅行の改善向上に挺身、大きな功績を残した。

教育界に大きな功績

全修協山本理事長談

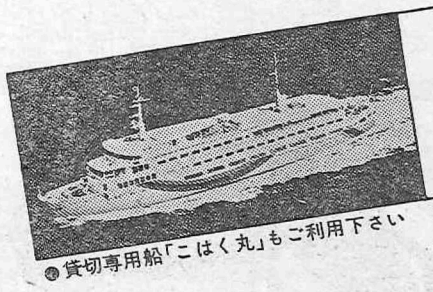
同志のひとりであった狩野先生逝去の報に接し言葉もない。ここ二、三年、病気がちであったが、私は絶えず手紙で激励していたのについに不帰の客となられ、残念のきわみだ。私の手許にあるいくつかの手紙の中に「もし身体が不自由になり、全修協の運動に協力できぬことになっても、あなたとの友情は絶えることなく続くだろう」と書かれてある。それを読みかえしながら先生の全修協運動と教育界に尽された多くの功績を思い出している。いまはただ先生のご冥福を祈るばかりだ。

風紋

アジサイの花に、絹ごしの雨が降る梅雨の季節となったが、晴れ間を見て、待ちに待った今日の日曜日、京の洛北・北山に探石行をする。柔らかい若葉の燃える山、岩間を伝って流れる水音、時おり樹間にこだまするウグイスの声だけが、あたりのしじまを破る。ゴム長にバールを手にし、透き通る冷たい清水に映る石の形と色に無心に見入る探石三昧、私にはこれに過ぎる洗心と健康はない▼いつの頃からか石に心をひかれて早や十四、五年になる。そのわけは、と問われてもさだかではない。思いあたるとすれば、幼い頃から南画の深山幽谷の風景になじんでいたこと。探石を始める五年前、日本アルプスに魅せられ、毎夏登山した。そのためか、身近かに山水景情石を求めることになったのであろう▼しかし、この趣味は人が思うほど特異なものでもない。石仲間はたくさんいる。大阪だけでも十数クラブある。遠くさかのぼれば平安時代から始まる。江戸時代になって文人墨客がとくに石を愛した。その最たるは頼山陽である。彼は京の加茂川のほとりに仮寓して、朝な夕な著作のあいまに加茂の河原を散策、比叡山を仰ぎ見ていたことであろう▲石は八瀬の大原女などから、しば漬など京の街に商う道すがら、いくばくかの金で買い上げ愛玩していたという。その伝統が今になお続いている。山陽の遺愛石が今日、時おり石展に紹介され、私もそのいくつかを拝見している▼人みな同じ行楽地に遊ぶ感ある今日、なんといっても探石の魅力は人気のない静かな清流のもとで、すべて世の煩わしさから解放され、終日探石三昧にはいれることだ。一石でもよい石があればと思う今日この頃である。携行したにぎり飯をほおばりながら、四季折おりの山のうつろいを眺める。時にツクシ、野ブキ、セリなども持ち帰る。おかげで胃病もなおり、足腰も強くなった。かくして、子どもの遠足のように次の日曜が待たれるわけである。

移転　佐賀県教育公務員弘済会は佐賀市高木瀬町大字東高木二二七番の一、県教育会館内に移転。郵便番号八四〇―〇一、電話〇九五二―三二―四七六八。

KANSAI KISEN

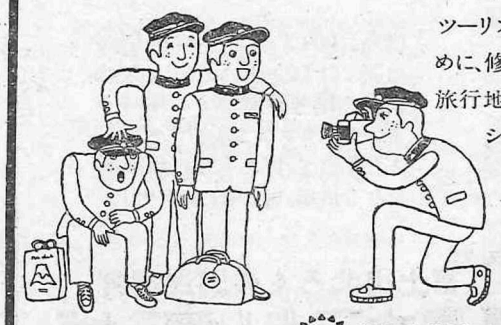


思い出の修学旅行
印象的な、
瀬戸内海の船旅

●阪神／別府航路（毎日3便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
●東神戸／日向（宮崎）フェリー（隔日1便）
●貸切専用船「こはく丸」もご利用下さい

お問合せは＝大阪市港区弁天6―7―15　☎(06)574―9161
東京都中央区八重洲1-9-9　☎(03)274―4271
ほか、各地支店駐在員・旅行代理店へ
関西汽船

ツーリストの修学旅行は新鮮です。



ツーリストでは、より充実した修学旅行のために、修学旅行用の映画を製作いたしました。旅行地別に編集した16ミリカラー「学習の旅シリーズ」、日本の文化・歴史・自然などを広範囲にとらえた「ツーリスト映画シリーズ」など約20編。事前のオリエンテーションのほか、学習の教材にもどうぞご利用ください。

近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号

研修旅行 爆発的人気よぶ

山口がトップを走る

根強い近畿、各地区追いあげ

ことしの夏季教職員研修旅行は七月下旬―八月上旬の前期に一般研修十八、特別研修四コース、八月中旬―同下旬の後期に一般研修五、特別研修一コースのほか、日教組と共催の海外二コースで実施されるが、全修協各都道府県支部や友誼団体への申し込みが殺倒、早くも満員のコースが続出している。本年の募集は早期から行われたため周知徹底し、夏の到来とともに人気が爆発したものとみられる。

六月二十日現在、トップをいくのは山口県で昨年をはるかに上回わって四百五十四名、しめきり日までには六百名にしたいと全修協支部（開地茂行支部長）では張り切っている。これは同県教職員互助会の中山助雄事務局長を中心とするスタッフの強力な支援が結実したもの。

東京都（理事・青山良道支部長）や佐賀県（篠崎規支部長）は前年度をはるかに上回わる成績をあげ、これに兵庫、大阪、滋賀、京都、和歌山の近畿圏が肉迫し、その間を縫って福島、三重、山形、富山の各県が上位に進出している。

東海、関東地区がどれくらいの伸びをみせ、また、東北、中国、四国、九州各地区が逆転進出するかどうか。各支部と友誼団体はあと十数日の追い込みに拍車をかけている。

六月二十日現在の上位十傑は次の通り。

①山口（四五四）②兵庫（三五三）③東京（三三八）④大阪（三一〇）⑤福島（一二五）⑥佐賀（一六七）⑦三重（一四一）⑧山形（一一七）⑨富山（一一〇）⑩滋賀（一〇一）。

夏のコース一覧

【前期】七月下旬―八月上旬

一般研修

▼北海道一周A（六泊七日）▼同B（五泊六日）▼同C（七泊八日）▼道南（松前・江差）と洞爺（五泊六日）▼知床・納沙布（四泊五日）▼利尻・礼文（四泊五日）▼東北一周（五泊六日）▼陸中海岸と金華山（四泊五日）▼奥東北＝津軽と恐山（五泊六日）▼出羽三山と磐梯・蔵王（五泊六日）▼佐渡・磐梯・蔵王（五泊六日）▼能登半島と佐渡が島（四泊五日）▼能登半島・越前（四泊五日）▼九州一周（七泊八日）▼四国路（六泊七日）▼山陰（五泊六日）▼木曽・飛騨路とアルペンルート（四泊五日）▼吉野・十津川と南紀（五泊六日）▼信濃路（四泊五日）

特別研修

▼尾瀬の探勝（三泊四日）▼安曇野と塩の道（三泊四日）▼大台ガ原と大杉谷（四泊五日）▼比叡山と近江路（三泊四日）

【後期】八月中旬～同下旬

一般研修

▼北海道A（六泊七日）▼同B（五泊六日）▼道南＝松前と江差と洞爺（五泊六日）▼知床・納沙布（四泊五日）▼奥東北＝津軽と恐山（五泊六日）

特別研修

▼南東北＝芭蕉をたずねて（近畿のみ五泊六日）

（注）日数は東京起点。地区・県によっては実施しないコースもあります。

海外

▼WCOTPとオーストラリア・ニュージーランド（七月二十五日―八月十一日）＝日教組と共催▼ヨーロッパ・ロマンチック街道（七月二十八日―八月九日）＝日教組と共催▼友好訪華（八、十一月）

研修旅行の補助拡大

県教委・教育団体

役員、支部長が努力

友誼団体も全面支援へ

研修旅行の参加者に対する公的特典は年ごとに拡大されている。これは同旅行が教育的意義を持ちその活用に大きな期待がかけられているためで、補助金の増額、職専免、義務免、研修、厚生休暇などの取り扱い範囲もひろがりつつある。これは全修協役員や支部長さらに友誼団体の県当局や教委、教育機関に対する運動の成果というべきである。

北海道では理事・支部長の高田治郎氏が本年度は昨年より三十万円増の総額二百三十万円、山形県では理事・支部長の完戸一郎氏が総額一千万円、茨城は常務理事・支部長永井熙氏が従来の一人当りの補助金千五百円を一躍五千円に増額、さらに理事の成瀬幡治氏も愛知県で参加者一名につき五千円百名分の五十万円を獲得しているのが目立つ。

本年度・参加者への特典を実施している都道府県は次の通り。

【北海道】総額二百三十万円、一名一万五千円―二万円。義務免

【青森】一名七千円。職専免。

【秋田】研修、義務免。

【岩手】会費の二〇%。

【山形】総額一千万円。コースにより一人一万円―三万円。職専免。

【宮城】職専免。

【福島】職専免。

【茨城】一名五千円。職専免。

【埼玉】職専免。

【千葉】総額五百万円。

【東京】研修。

【山梨】会費の二〇%。

【新潟】一名五千円。職専免。

【富山】会費の一五%、職専免

【石川】一名六千円。

【福井】会費の一〇%、研修。

【静岡】厚生休暇。

【愛知】一名五千円。総額五十万円。

【三重】一名五千円以内。職専免。

【滋賀】一名三千円。職専免。

【京都】職専免。

【奈良】一名三千円。職専免。

【和歌山】職専免。

【大阪】会費の二〇%。職専免

【兵庫】総額五百九十万円。職専免。

【岡山】職専免。

【山口】一名四千円―一万二千円。職専免。

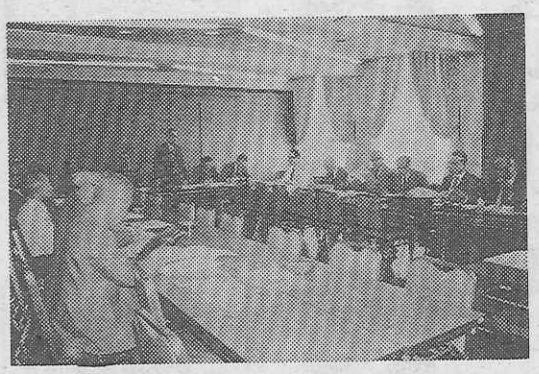
【高知】一名千五百円。職専免

【佐賀】研修、厚生休暇。

【大分】一名五千円。特別休暇

【宮崎】一名五千円。

【鹿児島】会費の一五%。研修



研修旅行の推進委

全修協東京都支部で

全修協東京都支部（青山良道支部長）の本年度教職員研修旅行推進委員会は六月二日午後一時三十分から東京・新宿の都教育会館に都内の元小中高校長、教諭をはじめ研修旅行既参加者ら十八名が集って開催。

全修協からは山本理事長、理事の青山都支部長、前田事務局長、藤田研修部長、金谷経理部長、森本参与らが出席した。

山本理事長は「全修協は修学旅行改善向上のための研究組織だがそれを自らの体験によって学ぶほか、余暇活用、厚生運動の一環として教職員の研修旅行を実施し、本年で二十二年目を迎えた。全国の都道府県教委や教育諸団体の強力な後援によって生長し、いまや教育界の年中行事として定着している。本日お集りのかたがたにこの運動に深いご理解を賜わって研修旅行がますます発展するようご指導をおねがいしたい」と挨拶。

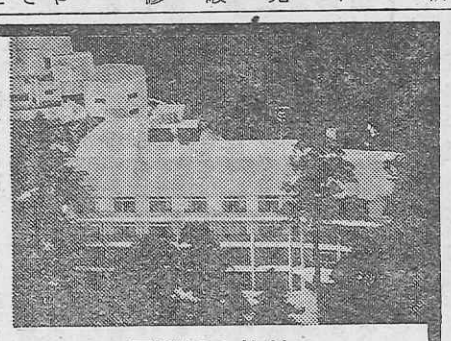
一同は「この研修旅行を盛りたてて、本年も成功させよう」申し合わせ午後四時すぎ閉会した。

全修協を除く当日の出席者は次の通り。（順不同・敬称略）

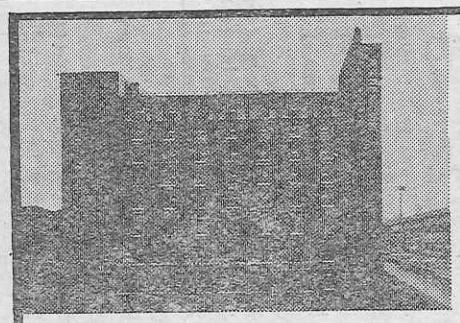
田島寛一、夏村ツ子子、中村邦男、板倉三郎、朝比奈鉄雄、池沢弘人、望月わか子、小野寺克巳、今野仲一、飯田清、岩田久平、清水健次、桜井喜四郎、宮坂延次、鈴木春之助、岡部修。

【写真は挨拶する山本理事長】

修学旅行のお宿に
全館を開放
■延暦寺会館本館
■別館比叡
■延暦寺会館第1別館 〈収容600名様〉
■延暦寺会館第2別館
☆素晴らしい琵琶湖の夜景
☆根本中堂で早朝の座禅
☆スッキリした気分で次のコースへ
☆頭のよくなる精進料理
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕



〈国際観光旅館〉
比叡山 延暦寺会館
TEL 0775―78―0047・0554
TELEX 5464―917



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。
ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585―1046(代表)
東京 コマ旅行会館

富士の美しさが眼前
樹海の中の国民宿舎
標高1,000メートル、赤松樹海に囲まれた白亜のロッジ。森林公園や陶芸教室などの他ハイキング、テニスコートなど楽しみも豊富です。もちろん修学旅行にも最適の環境にあります。
富士山北ろくの国民宿舎
富士スバルランド
予約センター☎05557―2―2236

別府あじむ高原
アフリカンサファリ
クンザニア・マハリマウンテン国立公園姉妹パーク
〒872 大分県宇佐郡安心院町 TEL(09784)8―2331(代)
東京事務所 文京区湯島4―6―11 TEL(03) 816―4843
●営業時間 午前9時～午後6時〈3／16～11／15〉
〈冬期間〉 午前9時30分～午後4時〈11／16～3／15〉
●修学旅行料金 高校生900円、中学生600円、小学生500円
訪れるたびごとに野性のドラマが。
動物に学ぼう。動物は生きた教材。 ●広さ115万㎡ ●飼育動物頭数1,300頭羽